



イチジクの管理作業をする濱田氏

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
濱田優、千葉県鎌ヶ谷市
- ◆設立年  
令和4年12月
- ◆経営規模  
露地野菜（カブ）6ha、イチジク 0.5ha、直売所120㎡
- ◆従業員数  
役員2名、技能実習生2名、パート・アルバイト7名
- ◆事業内容  
カブとイチジクを中心に農産物の販売や加工に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

家族経営による労働力の不足を見込んで**人材を確保するため、社会保険制度の整備や人材育成制度の確立などを行っていく必要がある。**

また、契約出荷を主としているため、**取引先からの信用性を高める必要がある、法人化を検討**していると令和4年6月に相談があった。

## 2 支援内容

中小企業診断士による**経営診断**や、**事業継承に伴う規模拡大や雇用導入を想定した収益シミュレーション、中期計画の作成に向けた助言**を実施した。

また、安定した雇用人材の確保に向け、法人化について支援を実施した。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★SNS等を活用し経営理念・ビジョンを伝え人材確保に取り組むと同時に農福連携にも取り込み人手不足解消を実現

### ■ SNS等を活用した経営理念・ビジョンの共有

採用の優先事項が「想いを共有できる」なので、**求人の際にも経営理念・ビジョンを伝え**、それに共感できる人材が関心を持ちやすいようにしている。

### ■ JGAP認証取得

2021年4月から、カブにおいてJGAPの認証を受けている。

### ■ 生き生きと働ける環境づくり

「性別」「年齢」「国籍」に関わらず、**多くの人々がコミュニケーションをとり円滑に笑顔で働ける環境**を作っている。

市内の福祉事務所と連携し、カブの袋詰め作業の一部を業務委託という形で「農福連携」にも取り組んでいる。



直売所兼作業所の外観



「農福連携」により袋詰めしたカブ

### 今後の意気込み

法人化して強い組織を作ること、私たちだからこそできる農業に取り組んでいき、取引先をはじめ、いずれ地域にも貢献していけるような事業を行っていきたい。

### 専属スタッフ所感

事業継承を機に法人化した事例です。JGAP認証や農福連携に取り組むなど、雇用環境整備以外にもモデル的な取組を行っています。